

新潟を拓く10大プロジェクト

篠田市政は今後、どんな分野、どんな方向に力を入れていくのでしょうか。ここでは「新潟を拓く10大プロジェクト」と名付けて、篠田市政3期の成果をどんな形で市民にお届けしようとしているのかを探ることにしました。これらのプロジェクトが良い形で仕上がるように、皆様のご協力をお願いいたします。

- 1 食育と全小学生の農業体験＝大農業都市・新潟にふさわしいプロジェクトとして、全国初の取り組みを1年後にスタートさせます。教育委員会と農林水産部が担当です。
- 2 ニューフードバレー＝大きな農業の力と、日本トップクラスの食品加工業の実績、それに流通・販売のノウハウを併せ持つ田園政令市として6次加工産業を育てます。この春、南区に「農業研究センター」（仮称）を開設、6次加工産業の支援センターとして機能させます。
- 3 在宅医療・介護の充実＝特別養護老人ホームの整備前倒しと連携して、在宅で看取りまでできる包括ケアシステムの整備を支援します。
- 4 防災・救援首都＝首都圏直下型や東海など3連動地震に備え、日本の安全度を上げる取り組みを新潟からスタート

トさせます。

- 5 持続可能な新バスシステム＝都心部に基幹公共交通軸をつくることで新潟交通のバス路線網を再編し、持続可能なものに深化させます。
- 6 まちなか再生・都心軸の明確化＝新潟駅から萬代橋・榎谷小路に至るラインを都心軸として整備し、まちなか再生に結びつけます。
- 7 障がい者施設・雇用の充実＝「安心政令市・にいがた」をつくる新たな取り組みとして、高齢者福祉に続く取り組みを加速します。
- 8 航空機部品産業の本格育成＝西蒲区でスタートした航空機エンジン部品の共同工場を成功させ、第2期計画に早期に移行し、成長分野の新たな産業に育てます。
- 9 ユネスコ創造都市ネットワーク登録＝コメを中心としたガストロノミー（食文化）の分野でユネスコ創造都市に登録を目指し、新潟を創造都市に育てます。
- 10 新潟にふさわしい新しい都市制度の確立＝政令市の歩みを前向きに総括し、これから目指す新潟の都市制度の選択肢を具体的に提示し、基礎自治体を強化します。

にぎやかに 篠田市政10周年を祝う会

昨年11月、「篠田あきらの新潟市政10周年を祝う会」が新潟市内のホテルで開かれました。会には約350人が参加、「NAMARA」の江口歩さんの進行により、なごやかな雰囲気で行われました。サプライズ・ゲストとして女優の大桃美代子さんも登壇、篠田市長に花束が贈られました。

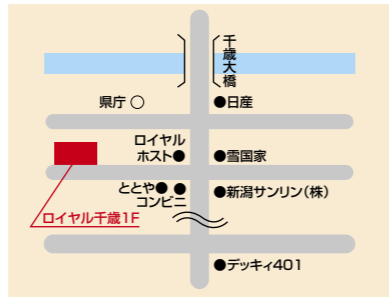
会は10年の歩みを映像で振り返り、10大トピックスの紹介などで大いに盛り上がりました。一部、会場に入れない方が出るなど、ご迷惑をお掛けしました。ご協力いただいたすべての皆さんに感謝申し上げます。



しのだ昭 後援会
あきら会



〒950-0962
新潟市中央区出来島1丁目3番11号 ロイヤル千歳21・1F
TEL025-280-8808 FAX025-280-8810
http://www.shinoda-a.jp/ E-mail: info@shinoda-a.jp



お気軽に事務所
へお立ち寄り下
さい。
広く会員を募集
しています。

迎春

しのだ昭 後援会

あきら会
にいがた広域懇話会



2013年1月1日発行

篠田市政10年 ご支援に感謝

あきら会の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんの大変なご支援をいただき私が新潟市長にさせていただいて10年が過ぎました。この機会に10年をミニ総括すると共に、3期目の残る任期に全力投球し「政令市・新潟」の土台を確かなものにして参りますので、今年もご助言・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

10年前の秋、私は「大合併・政令市づくりを市民のためのものに」「そのためには市役所改革が欠かせない」という旗を掲げて初当選を果たすことができました。この初心を忘れずに今後も進んでいきます。

私が市長に就任当時、新潟市役所には多くの「悪弊」があったように感じました。特定の議員が執行部に大きな影響力を持つことに強い違和感を持ちました。大きなまちづくりを阻んできた「革新市政の後遺症」、それと裏腹の「業界との癒着」も看過できない状況でした。市民視点が欠如し、「市民との協働」は言葉だけのようでした。中核市・県庁所在都市の立場に安住し、「内部評価と外部評価」が共に欠落してしま

た。組織では縦割りの弊害が強く、多くの幹部は「相互不可侵の組織風土」という蝸壺にはまり込んでいました。

ご迷惑を掛けた談合事件や市民の皆さまからの支持もあって、多くの悪弊や独り善がりも改善されたと認識しています。「窓口の対応が良くなったね」と言われると嬉しくなりますが、「まだこんなことをやっているのか」と申し訳なく思うこともあります。

昨年の3・11大震災で新潟の救援拠点としての機能が広く認められ、新潟の可能性が大きく広がりました。一方では地元でも2度の地震など災害が相次ぎ、世界金融危機の悪影響もあって、政令市効果が雇用・まちづくりの面で十分に発揮できなかったことを大変に口惜しく思っています。

今後は「安心・安全」「市民主権」の土台を強化し、その上に「日本海拠点都市」「田園文化都市」を築き、首都圏直下型地震などに備える「救援首都」「防災首都」の役割を新潟が果たすよう努めていきますので、今年もよろしくお願い申し上げます。

新潟市長 篠田 昭

トピックスで振り返る 篠田市政10年



2002年11月から始まった「篠田昭市政」の10年をトピックスで振り返ってみました。10大トピックスなどは篠田市長が自ら選んだものです。皆さんの印象とどこが違い、どこが同じか、ご確認ください。

10大トピックス

TOPICS 1 まずは「平成で最大の大会・本州日本海側初の政令市誕生」を挙げたいと思います。大変なご協力をいただいた合併地域の首長・議員の皆さん、地域の皆さんに深く感謝いたします。

TOPICS 2 2番目には「3・11大震災で新潟が日本最大の救援拠点として機能」にさせていただきました。これは新潟のミッションが私たちが考えてきた以上に大きいものがあることを実感させてくれたもので、今後の新潟拠点化の大きな拠り所になります。

TOPICS 3 3番目は「教育ビジョン策定」です。政令市になると教職員の人事権がくることに着目。新潟の目指す教育の方向を市民と共に明確にしました。「学校を地域に開き、地域から支援される学校」を掲げ、学校と地域をつなぐ教育コーディネーターを158の小中学校に配置を終えました。これは市内171小中学校の9割以上に当たります。

TOPICS 4 4番目は行財政改革を推進し日経新聞調査で「行政革新度が全国トップ4に」ランクされたことです。東京都・特別区を除く地方都市ではトップのランクでしたが、さらに上位を目指します。

TOPICS 5 5番目は、ごみを有料化し「約30%のごみ減量に成功」です。これは市民の皆さまの大変なご協力がなければ到底達成できない数字であり、新潟の市民力を表すものと誇らしく思っています。

やすらぎ堤の誓い 今も

TOPICS 6 6番目は「完全米飯給食の実施」です。世界でも健康に良い日本食に小さいときから接してもらおう取り組みで、地元の有機コシヒカリを子どもたちに食べてもらい、新潟のおいしさを実感してもらおうことにもなります。

TOPICS 7 7番目は、特別養護老人ホームを「4年間で1,000床前倒し整備」としました。2010年の市長選マニフェストで大きな方向を示し、その後、具体数字を明示しました。現在、特養の入居希望者で緊急性の高い方が1,200人ほどいらっしゃる状態です。1,000人の整備を前倒しすれば、この方たちは既存の整備と併せ4年でメドがつくことになります。

TOPICS 8 8番目は「G8・APECの大臣会合を開催」としました。新潟が国際コンベンションシティの道を着実に歩むことで、日本海拠点都市を実現していきます。

TOPICS 9 9番目は新潟港が「日本海側拠点港に選定」を挙げました。本州日本海側で群を抜くコンテナ取扱量の実績を持つ新潟なら当然かもしれませんが、博多、北九州港に並んだことの意味は大きいと思います。1年半前、私が日本港湾振興団体連合会の会長にご推挙をいただきましたので、今後も港湾整備に力を注いでいきます。

TOPICS 10 10番目は西蒲区に「航空機エンジン部品の共同工場を立地」したことを挙げました。いまはまだ小さな卵かもしれませんが、全国各地が共同工場にチャレンジしても結果を出せなかったものを新潟市で成功させた意味は小さくないと思います。航空機のエンジン部品づくりは将来の発展が期待できる成長分野ですので、産業の柱に育てていきます。



番外

- * 全国で初の食育花育センター開設。来春には宿泊型の農業体験施設「アグリパーク」が南区にオープンします。
- * まちづくりと健康づくりを徹底連携させる「スマートウエルネスシティ」(健幸都市づくり)で、国の総合特区に認定されました。
- * まちなかの空洞化が各地で問題になる中、新潟は中心市街地の人口が5年で2,000人ほど増加しました。これは地方都市では極めて稀なことといえます。

マイナスもありました マイナス5大トピックス

- * 新潟市の公共事業で官製談合、積年の悪弊が表面化
- * 大和新潟店が閉店、まちなか問題が顕在化
- * 市美術館問題から「奈良の古寺と仏像展」が長岡開催に
- * プラーカの負の遺産、貸付金の回収不可能が確定
- * マリンピアで魚が大量死

誠に申し訳ないこととっていますが、業界との癒着や市美術館の体質については抜本的な改革を進め、大きく改善することができました。今後はマリンピアのリニューアルを良い形で進めると共に、まちなかの活性化に全力で取り組みます。

